

2019年7月11日
日興アセットマネジメント株式会社

「高金利先進国債券ファンド2(早期償還条項付)／愛称:オリーブ2」 分配金のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「高金利先進国債券ファンド2(早期償還条項付)／愛称:オリーブ2」は、2019年7月10日に決算を行ないました。

本資料では、当期の分配金についてご報告するとともに、マザーファンドの運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドのコメントをご紹介します。

当期の分配金と設定来の基準価額推移



＜当期の分配金＞

分配金 (税引前、1万口当たり)	0円
基準価額(1万口当たり) 2019年7月10日現在	9,363円

＜基準価額の推移＞



※ 基準価額は信託報酬(年率1.3392%(税抜1.24%))控除後の1万口当たりの値です。

今後の分配金額につきましても、引き続き、収益分配方針に基づいて決定してまいります。
今後も、当ファンドをご愛顧くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

- 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド2(早期償還条項付)／愛称:オリーブ2」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。

■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

■ 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

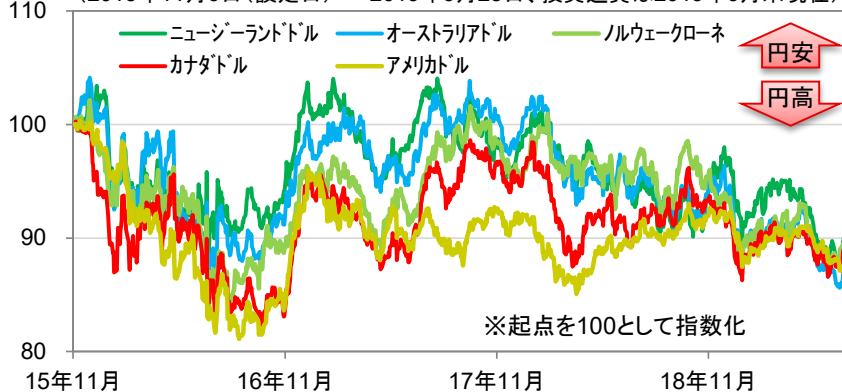
運用概況と投資国の見通しについて



- 今期(2019年1月11日～7月10日)の金融市場では、米国の保護主義的な政策や地政学リスクの高まりなどを背景に、グローバル経済の減速懸念が高まり、世界的な金利の低下(債券価格の上昇)が進みました。市場では、各国中央銀行が進める金融政策の正常化に対して懐疑的な見方が拡がり、米国、欧州、オーストラリアなどを中心に更なる金利低下を織り込む動きがみられました。
- 5月に米中貿易摩擦が再燃したことで、世界景気の減速が懸念され、米国の長短金利差が再び逆転しました。FRB(米連邦準備制度理事会)はハト派的な姿勢を強め、7月にも利下げを行なうことを示唆しました。市場では、年内に2回の利下げを見込む声があるものの、米国の消費は比較的堅調であり、こうした利下げ期待や景気後退への悲観論は過剰であると考えています。
- ニュージーランドの中央銀行は、輸出や景況感の悪化、インフレ圧力の弱まりなどを背景に、5月に政策金利を0.25%引き下げ、過去最低の1.5%としました。また、労働市場と物価を支えるため、追加の支援策についても討議を行ないました。こうした中央銀行の姿勢を受け、市場では更なる利下げが予想されています。
- オーストラリアの中央銀行は、予想を下回るインフレ率や輸出の悪化を受け、6～7月の2会合連続で政策金利を引き下げ、過去最低の1.0%としました。同行は今回の利下げについて、雇用の下支えとインフレ目標の達成に向けたものであると説明していますが、市場では追加利下げを予想する見方もあります。オセアニア地域における利下げ観測の強まりを受け、当ファンドでは同地域の投資比率の見直しも視野に入れていきます。
- 世界的な貿易摩擦の激化は、カナダ経済の下押し圧力となりました。しかし、USMCA(米国・メキシコ・カナダ協定)が批准される見込みとなったことから、今後の輸出や投資の増加が見込まれ、貿易摩擦によるマイナスの影響が減殺されるとみられます。中央銀行は今年4-6月期以降の経済活動の回復を予想しているものの、政策金利は経済指標の動向に応じて決定するとしており、金融政策は当面据え置かれる見込みです。
- ノルウェーでは、3月に続いて6月の金融政策決定会合でも利上げが決定され、政策金利は1.25%となりました。世界貿易を取り巻く環境は不透明感を強めているものの、同国経済は健全であり、インフレ率も堅調を維持していることから、中央銀行は声明で、年内の更なる利上げを示唆しました。

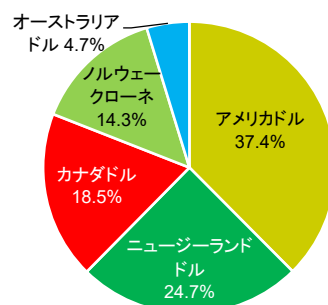
<投資通貨(対円レート)の推移>

(2015年11月6日(設定日)～2019年6月28日、投資通貨は2019年6月末現在)



<実質通貨別投資比率>

(2019年6月末現在)



※ 上記は当ファンドの対純資産総額の比率です。比率にはその他があるため100%とならないことがあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

上記は、当ファンドの主要投資対象である「高金利先進国債券マザーファンド」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方見方あるいは考え方を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド2(早期償還条項付)／愛称:オリーブ2」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。